



MARKING NOTES REMARQUES POUR LA NOTATION NOTAS PARA LA CORRECCIÓN

May / mai / mayo 2010

JAPANESE / JAPONAIS / JAPONÉS A2

**Standard Level
Niveau Moyen
Nivel Medio**

Paper / Épreuve / Prueba 1

*These marking notes are **confidential** and for the exclusive use of examiners in this examination session.*

*They are the property of the International Baccalaureate and must **not** be reproduced or distributed to any other person without the authorization of IB Cardiff.*

*Ces remarques pour la notation sont **confidentielles**. Leur usage est réservé exclusivement aux examinateurs participant à cette session.*

*Ces remarques sont la propriété de l'Organisation du Baccalauréat International. Toute reproduction ou distribution à de tierces personnes sans l'autorisation préalable d'IB Cardiff est **interdite**.*

*Estas notas para la corrección son **confidenciales** y para el uso exclusivo de los examinadores en esta convocatoria de exámenes.*

*Son propiedad del Bachillerato Internacional y **no** se pueden reproducir ni distribuir a ninguna otra persona sin la autorización previa de IB Cardiff.*

この「マーキングノート」は、問題のねらいと答案の出来のたまかな目安を示したもので、採点上の一応の参考にすぎません。採点時の一つのガイドラインではありますが、すべての答案の採点基準として厳守されるというものではありません。採点にあったては、「ランゲージ A2 ガイド」の評価表が、評価の際の第一の基準であることに留意願います。ご自身が持つおおよその基準となじまないところがあっても、気になさらず、良い答案はここに書かれていないものでも高く評価し、レベルの低い答案はそれなりの評価をなさってください。

問題 A

ねらい

受験生は、二つのテキストの文体や表現技法の違いを比較することによって、それぞれの特徴とその効果について、また両者に共通する障害者に対するテーマのバリアフリーについて考えることを求められている。テキスト1は乙武洋匡の自伝「五体不満足」からの抜粋で、テキスト2は車イスの弁護士として知られる村田稔の「車イスから見た町」からである。

標準以下の比較コメントリー

- 二つのテキストに共通するテーマは障害者についてであるが、立場や視点が異なることに気がついてい
- 二つのテキストの表現の特徴について、それぞれ少なくとも一つは述べている。

標準より良い比較コメントリー

- バリアフリーを訴えるアプローチが異なることを理解している。例えば、テキスト1は障害者が健常者の協力によって社会の中でうまく生活できることを語っているが、テキスト2は障害者が自由に動き回れる町作りを訴えていることを理解している。
- テキスト1は過去を語る自伝であり、テキスト2は現状の問題を解決するためのアピールであることに気がついてい

最も良い比較コメントリー

- 二つのテキストで語られているテーマの共通点と相違点についての的確に理解し、また筆者のメッセージについての的確に詳しく述べている。例えば、テキスト1は重度の障害を持つ筆者が、普通の学校に通った過去を肯定的に振り返ることにより、バリアフリーを語り、社会の協力を主張する。しかしテキスト2は不自由な生活を強いられてきた弁護士である筆者が、万人に与えられた行動の自由の権利を主張し、社会に正義を問う文章であることを理解している。
- それぞれのテキストの表現の特徴とその効果について言及している。テキスト1では、会話文の効果的な挿入に、テキスト2では法律文を巧みに取り入れていることに着目している。
- 二つのテキストの語調について比較対照し、それぞれの効果について述べている。例えば、テキスト1は、フレンドリーな口調で語られる短い文と会話を繋げてリズム感のある文章になっているが、テキスト2は論理を積み重ねて、最後に法律の一部を明記して、弁護士らしい説得力のある文章になっていることを述べている。
- 二つのテキストの構成について比較対照している。例えば、冒頭の導入部分とその効果についてコメントしている。
- テキスト2の巧みなエピソードの使い方とその効果についても言及している。

問題 B

ねらい

この二つのテキストは、二人の大学教授が教えることと学ぶことについて書いている。テキスト3はインターネット上の教科書会社月刊誌に掲載された生物学教授の記事で、テキスト4は政治家出身の教授についての朝日新聞の連載インタビュー記事である。

標準以下の比較コメンタリー

- 二つのテキストが、大学教授が学生の授業態度について書いた文章であることを理解している。
- テキストの種類が異なることが分かっていて、それぞれのテキストの特徴の例が少なくとも一つずつ挙げている。

標準より良い比較コメンタリー

- テキスト3は主観的に書かれた教授の観察で、テキスト4はインタビューを基に書かれた教授の言葉を掲載した記事であることを理解している。
- それぞれのテキストの語調について適切に述べている。
- それぞれのテキストの対象読者について言及している。

最も良い比較コメンタリー

- 二つのテキストの読者へのメッセージを十分理解し、比較できている。例えば、テキスト3は自分と同じ「憂鬱」を共有しているかもしれない教師に向けてであり、テキスト4は幅広い購読者を持つ一般紙に学ぶことの大切さとそれを教える教師の情熱を述べている。
 - それぞれのテキストの筆者の教えることに対しての考え方を、比較対照している。例えば、テキスト3は「憂鬱」の言葉に象徴されるように、教えることに情熱を感じていないようで悲観的な消極的であるが、テキスト4は積極的に興味深い授業をするように努めている。
 - 二つのテキストの構成が異なることとその効果について、適切に述べている。
 - 主な表現の特徴とその効果についての的確な例を挙げて述べている。例えば、テキスト3は常体で書かれているが、テキスト4は常体と敬体が混在し、体言止めも使われていることに着目して、その効果についても言及している。また、テキスト3では「憂鬱」「無反応」「教育の不可能性」等の意味することばに言及している。
-